

記入日：2024/08/29
法文学部言語文化学科 4年
高田 莉々花

フロリダ大学留学体験記 8月

私は2024年8月下旬からフロリダ大学のリベラルアーツ学部への交換留学生として大学生活を送っています。8月19日に留学生のオリエンテーションがあり、8月22日から授業がスタートという日程でした。海外経験がなく初めての海外、そして初めての一人暮らしという私にとっては少しハードルの高い挑戦になり、分からないことが多い中で感じたこと、特にぎりぎりになった留学先の生活場所についてレポートを書きたいと思います。

私は大学内の寮を希望して手続きを行っていました。しかし、渡航の約1か月前、「寮入居はキャンセルされました」というメールが届きました。家に関する資料に、「全ての学生が必ず寮に入れるとは思わないでください」と書いてあったのは知っていましたが、まさか自分が入れないとは思っていませんでした。留学生の手続きをしてくれている担当の人にメールをしても、フロリダ大学は受け入れている留学生の人数がとても多く、なかなか返信は返ってきませんでした。ダメもとで何度も「どうしても寮に入りたい」、「どうしてキャンセルされたのですか」、「オフキャンパスの家はどうやって探せばいいですか」などあらゆるメールを送りましたが、返信がくることはありませんでした。その返信を待ちつつ、オフキャンパスの家を探していましたが、この時アメリカは学期が始まる

前のお休み期間に入っているせいかメールの返信がなかなか来ません。そんな中で一つだけ返信をくれたアパートがありました。それは大学院生用のアパート、THE CONTINUUM という 2 人用のシェアルーム式アパートです。すぐにその入居手続きをし、何とか入居できることになりました。その入居手続きが終わったのは渡航の 13 日前でした。しかし、入居できる日が授業開始の 2 日前だったため、それまではホテルを借り、そこで生活をしていました。

8 月 14 日～8 月 17 日	渡航
8 月 17 日夕方	ホテル (Gainesville Lodge) 到着
8 月 18 日	
8 月 19 日	↓ オリエンテーション
8 月 20 日	アパート 引越し日
8 月 22 日～	授業スタート

ルームメイトの情報は事前に知らせていなかったため、現地で出会うのを楽しみにしていましたが、まさかの私の部屋にはルームメイトはいませんでした。2 人用のアパートに 1 人で住むということでも予想外のことが起きました。周りの交換留学生はほとんどがキャンパス内の寮に入っていて、友達ができるか

なという不安と、困ったときに頼れる人を探すことに必死の毎日でした。最初のオリエンテーションが私にとって最初のチャンスで、とにかく笑顔で話しかけることを心がけました。授業が始まってからもそれぞれの授業の先生に、私は交換留学生で、今英語を勉強中です。全てを聞き取り理解することが出来ないかもしれないかもしれません。だけど頑張ってこの授業を取りたいですということ、後で復習するために授業を録音させていただいてもいいですか？と話しかけに行きました。その時に日本からのお土産（ハイチュウ、ぷっちょ）を持って行ってあげたりしていました。ルームメイトがいないと英語を話す機会も少なくなることは避けられません、少しでも英語のスキルを身に付けるために動いています。ほんの少しだけフロリダでの生活に慣れた今、私はひとりの時間やひとりになれる場所が必要な性格なので、最初はどうも物事が進まないなと思っていましたが、今の環境も悪くないなと思っています。留学の準備を進めてきた中で思ったことは、複雑な手続きがたくさんあるので、留学に経験のある友達や、現地のことをよく知っている人、現地に繋がりを持っている人と交流を広げておくことは大切だと思いました。私は比較的そういう人との繋がりを持っていませんでした。島大に来ている留学生、ネイティブの先生などに関りを持っておくと助けももらえると思います。

ここまで来るのに大変でしたがまだ始まったばかりなので、多様性を認める

柔軟な社会と自分軸がはっきりしている生徒たちの中で、私もしっかり自分と向き合って生活していきたいと思います。



↑ フロリダ大学の門



↑ welcome party で一緒に撮ってもらったフロリダ大学のマスコットキャラクター